



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年10月29日

上場会社名 NCS&A株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9709 URL https://ncsa.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 辻 隆博
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員常務 経営戦略室長 (氏名) 小林 裕明 (TEL) (06) 6946-1991
 四半期報告書提出予定日 2019年11月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	10,943	17.3	522	88.3	550	86.8	644	195.2
2019年3月期第2四半期	9,332	4.9	277	—	294	—	218	—

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 660百万円(137.2%) 2019年3月期第2四半期 278百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	35.08	—
2019年3月期第2四半期	11.86	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	16,376	8,967	54.8
2019年3月期	16,550	8,583	51.9

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 8,967百万円 2019年3月期 8,583百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,700	1.2	700	1.7	800	1.0	680	18.6	36.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	20,000,000株	2019年3月期	20,000,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	1,682,813株	2019年3月期	1,572,061株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	18,372,576株	2019年3月期2Q	18,412,394株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米中の通商問題に係る緊張増大による影響が懸念されるなか、企業収益は高い水準で底堅く推移し、雇用・所得環境にも改善が見られるなど、緩やかな回復が続きました。

当社グループが属する情報サービス産業におきましては、AI、IoT、ビッグデータ、RPA（ロボティックプロセスオートメーション）等の技術を利用して、新しい製品やサービス、新しいビジネスモデルを通じて価値を創造し、競争上の優位性を確立する「デジタルトランスフォーメーション（DX）」に関するIT投資や、コンプライアンス対策、法令対応を目的としたIT投資、「働き方改革」の実現に向け業務効率化を目的としたIT投資等、国内企業のIT活用は多様化しており、市場環境は緩やかな改善が続きました。

このような環境のもと、当社グループは、「主力ソリューションの商品力強化」及び「営業力の強化」を両輪とした「トップライン（売上）の拡大」を基本方針とし、安定した収益基盤の確立に向け、積極的な投資及び積極的な受注活動を推進いたしました。

ホテルシステム事業につきましては、インバウンド旅行者の増加を背景とした新設ホテルの開業が続くなか、積極的な受注活動を推進し、売上、利益ともに引き続き堅調に推移いたしました。また、2019年10月より実施の消費税の軽減税率制度へのシステム対応案件が、ホテルシステム事業、外食システム事業を中心に増加いたしました。

自社開発製品であるシステムの可視化ソリューション「REVERSE PLANET（リバースプラネット）」につきましては、経済産業省が警鐘を鳴らしている「2025年の崖」問題（老朽化・肥大化・複雑化及びブラックボックス化した既存システムがDX推進の足かせとなり、ひいては国際競争への遅れや経済停滞に繋がる）に関連し、システムの可視化に対する顧客ニーズが高まりを見せるなか、既存顧客の深耕やアライアンス先との協業による導入ユーザー数の拡大に努め、売上が伸びました。また、2019年から2020年にかけて予定されているWindows7等のサポート終了に伴い、パソコン及びサーバ機器の更新需要を積極的に取り込んだ結果、ハードウェア売上が大きく増加いたしました。

受注を拡大させる一方で、開発プロジェクトの損失を最小限に抑えるべく、PMO（プロジェクトマネジメントオフィス）が現場に一步踏み込んで課題を共有し、現場とともに課題解決にあたりました。問題プロジェクトの「キズ」を最小限に抑えていくことで、売上総利益率の改善につながりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期に比べ16億11百万円（17.3%）増収の109億43百万円となりました。利益面につきましては、販売費及び一般管理費が前年同四半期に比べ増加したものの、増収効果及び売上総利益率改善による売上総利益の増加がそれを吸収したことから、営業利益は前年同四半期に比べ2億45百万円改善の5億22百万円、経常利益は前年同四半期に比べ2億55百万円改善の5億50百万円となりました。また、当第1四半期において、顧客のシステム統合化計画の見直しにより、導入済みの当社開発パッケージに係る保守契約の途中解約が発生いたしました。これに伴い発生した違約金収入1億55百万円を特別利益に計上したことから、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期に比べ4億26百万円改善の6億44百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は163億76百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億74百万円減少いたしました。流動資産は138億56百万円となり、1億42百万円減少いたしました。主な要因は、受取手形及び売掛金の増加(3億48百万円)、仕掛品の増加(3億円)、現金及び預金の減少(6億33百万円)、商品の減少(1億36百万円)等であります。固定資産は25億20百万円となり、31百万円減少いたしました。主な要因は、繰延税金資産の増加(73百万円)、差入保証金の増加(42百万円)、その他に含まれる保険積立金の減少(83百万円)、無形固定資産の減少(39百万円)、有形固定資産の減少(30百万円)等であります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は74億9百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億58百万円減少いたしました。流動負債は37億33百万円となり、4億55百万円減少いたしました。主な要因は、未払法人税等の減少(1億40百万円)、未払金の減少(1億29百万円)、賞与引当金の減少(80百万円)、支払手形及び買掛金の減少(64百万円)等であります。固定負債は36億75百万円となり、1億2百万円減少いたしました。主な要因は、退職給付に係る負債の減少(63百万円)、リース債務の減少(22百万円)、繰延税金負債の減少(10百万円)等であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は89億67百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億83百万円増加いたしました。主な要因は、利益剰余金の増加(4億23百万円)、自己株式の増加(59百万円)等であります。

なお、自己資本比率は、前連結会計年度末の51.9%から54.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の当社連結業績は売上面、利益面ともに堅調に推移いたしました。第3四半期以降につきましても、増税や自然災害による国内景気の悪化、米中貿易摩擦の長期化による世界経済への悪影響などの懸念がありますが、当社グループは引き続き「トップラインの拡大」をはじめとした各施策を推進し、通期計画の達成を目指してまいります。2020年3月期の連結業績予想につきましては、現時点では2019年5月14日に公表いたしました連結業績予想と変更はございません。

(注) 業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,760,271	7,126,812
受取手形及び売掛金	5,217,935	5,566,386
商品	459,528	322,533
仕掛品	335,253	635,458
その他	226,408	205,550
貸倒引当金	△268	△305
流動資産合計	13,999,128	13,856,437
固定資産		
有形固定資産	343,542	313,518
無形固定資産	454,036	414,621
投資その他の資産		
投資有価証券	917,131	892,950
繰延税金資産	113,097	186,223
差入保証金	247,103	289,841
その他	547,129	474,844
貸倒引当金	△70,291	△51,691
投資その他の資産合計	1,754,171	1,792,168
固定資産合計	2,551,749	2,520,308
資産合計	16,550,878	16,376,745

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	777,017	712,298
1年内返済予定の長期借入金	30,361	12,770
リース債務	72,328	67,327
未払金	1,204,013	1,074,023
未払法人税等	345,266	204,547
賞与引当金	847,481	766,752
役員賞与引当金	67,172	59,950
受注損失引当金	3,342	—
その他	842,233	835,785
流動負債合計	4,189,216	3,733,455
固定負債		
長期借入金	30,008	25,010
リース債務	104,062	81,374
退職給付に係る負債	3,611,247	3,547,259
長期末払金	21,970	21,970
繰延税金負債	10,687	—
固定負債合計	3,777,975	3,675,613
負債合計	7,967,192	7,409,068
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,775,100	3,775,100
資本剰余金	4,738,134	4,741,571
利益剰余金	935,538	1,358,922
自己株式	△438,223	△497,531
株主資本合計	9,010,549	9,378,062
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	190,363	173,028
為替換算調整勘定	6,032	2,395
退職給付に係る調整累計額	△623,259	△585,809
その他の包括利益累計額合計	△426,863	△410,385
純資産合計	8,583,686	8,967,676
負債純資産合計	16,550,878	16,376,745

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	9,332,022	10,943,072
売上原価	7,121,712	8,194,222
売上総利益	2,210,310	2,748,850
販売費及び一般管理費	1,932,852	2,226,260
営業利益	277,457	522,589
営業外収益		
受取利息及び配当金	12,012	14,548
未払配当金除斥益	4,728	3,170
その他	5,609	10,797
営業外収益合計	22,351	28,517
営業外費用		
支払利息	765	395
有価証券売却却損	2,310	—
為替差損	1,929	—
その他	59	176
営業外費用合計	5,064	572
経常利益	294,744	550,534
特別利益		
違約金収入	—	155,820
特別利益合計	—	155,820
特別損失		
事務所移転費用	—	3,957
特別損失合計	—	3,957
税金等調整前四半期純利益	294,744	702,396
法人税、住民税及び事業税	90,457	134,047
法人税等調整額	△14,052	△76,170
法人税等合計	76,405	57,877
四半期純利益	218,339	644,519
親会社株主に帰属する四半期純利益	218,339	644,519

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	218,339	644,519
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	48,498	△17,334
為替換算調整勘定	△4,111	△3,637
退職給付に係る調整額	15,935	37,450
その他の包括利益合計	60,321	16,477
四半期包括利益	278,660	660,997
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	278,660	660,997
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。